

PT063D-4G Ethernet 対応充電クレードル

主な特徴

- Ethernet: 10/100 Mbps 自動切り換え
- 保護: 1.5KV 磁気絶縁、トランス内蔵
- プロトコル: ICMP, ARP, IP, TCP, UDP, DHCP, Telnet, HTTP, SNMP, SMTP.
- 動作モード: TCP Server, TCP Client, UDP, Real COM, .
- ユーティリティ: Windows 95/98/ME/NT/2000/XP 用管理ユーティリティ.
- 管理: Web ブラウザ, シリアルコンソール, telnet コンソールまたは その他の開発用 Windows ユーティリティライブラリ.



インジケータライト:

インジケータライト: (左から右)

- 10101** ターミナルとのデータ転送, ダウンロード = 赤, アップロード = 緑
- 🔋** 緑 = バッテリーが充電されていないか、満充電,
赤 = バッテリー充電中
- 🔌** 緑 = 電源オン



コネクタ:

クレードル背面のコネクタ

DC: 充電と Ethernet モジュールの電源として 9V を供給。最大消費電流は 500mA。
IN/OUT: In または Out のいずれかを使用のこと。

消費電力:

最大: 500ma @ 9V DC 、充電中。

ユニテック・ジャパン株式会社

104-0033

東京都中央区新川 1-5-19 茅場町長岡ビル 8F

TEL: 03-3527-2766 FAX: 03-3527-3766

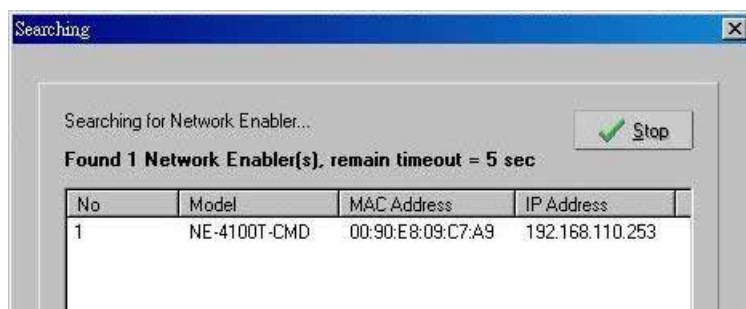
Web: <http://www.unitech-japan.co.jp>

e-mail: sales@unitech-japan.co.jp

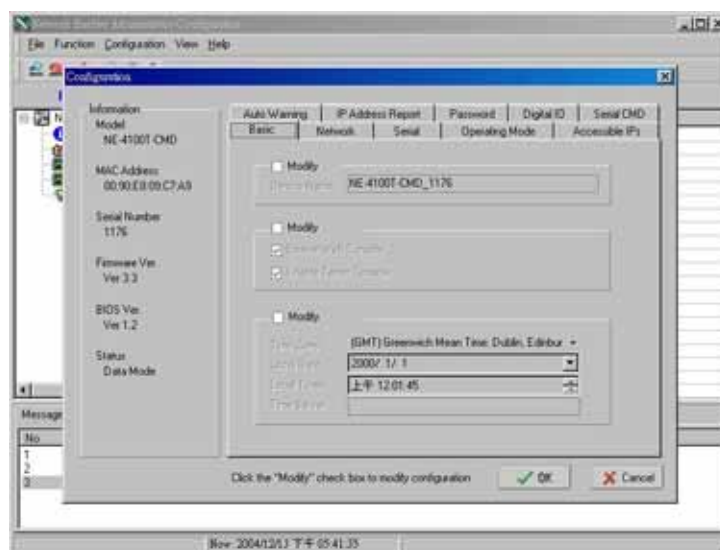
接続の設定

ハードウェアセットアップ: AC アダプタを PT063D-4G に接続し、クレードル背面のいずれかの RJ-45 ソケットに Ethernet ケーブルを接続します。

ソフトウェアセットアップ: **Network Enabler Administrator** を正しくインストールし、起動します。本ソフトウェアは自動的にクレードルをスキャンします。見つかった場合、以下のような “Searching” ウィンドウが見えます。



スキャナが終わったら、希望するユニットを選んで開きます。以下のような “Configuration” スクリーンが現れます。



このスクリーンで、クレードルの Ethernet についての動作を設定することができます。最初は “Modify” チェックボックスの注意です。これは間違っ設定の変更を行わないようにする安全機能です。チェックされていないボックスの詳細な設定情報を見ることができますが、“Modify” ボックスを有効にせずに変更をすることはできません。設定情報を変更するには、“Modify” ボックスをチェックし、そして対応する項目の設定変更ができるようにします。終了したら、“OK” を押して保存するか、“Cancel” を押して終了します。

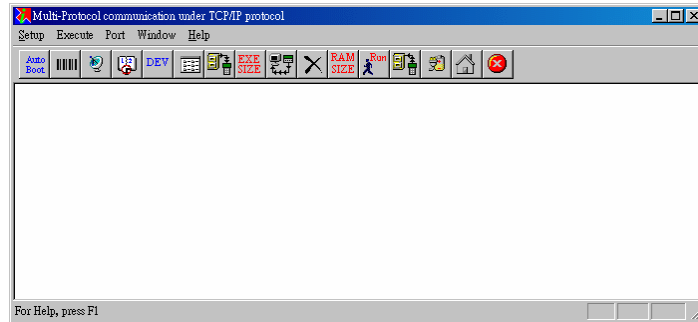
Multi-TCP で本クレードルを使用する場合、ユニットはポートを 3000 にセットし、そしてネットワークの正しい IP アドレスをセットした TCP サーバーにセットする必要があります。そしてクレードルの IP アドレスを入力することによって Multi-TCP のデスクトップからリモートクレードルユニットに Multi-TCP でアクセスすることができます。

Multi-TCP の設定

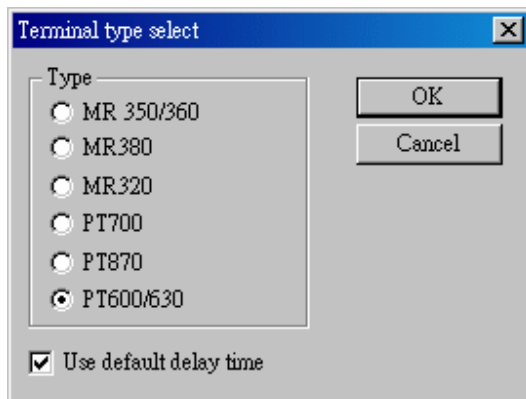
Multi-TCP: Multi-TCP を実行するために、まずコンピュータにプログラムをコピーする必要があります。インストールディスクからコピーするか、または以下の Web サイトからダウンロードすることができます。

<http://adc.unitech.com.tw/pub/cs/software/Multi32/dll17.zip>

コンピュータの適当なディレクトリにコピー/解凍した後で、ディレクトリを入力、そして 32bits ディレクトリを開き、そして TCPIP、MULTITCPIP (32bits¥TCPIP¥MULTITCPIP¥) を開きます。ファイル “multop32.exe” があり、実行すると以下のスクリーンが表示されます。



“Setup” メニューをクリックし、Multi-TCP が通信するターミナルタイプを設定するために “Terminal” を選択します。この場合、以下の右側のウインドウが現れ、PT600/PT630 /HT630 は適当に選択が行われます。終了後、クレードルの IP をセットアップするために Setup メニューで “Communication Parameter” を選択します。以下の左側のウインドウが現れます。クレードルの IP を入力し、設定を保存するために “Ok” をクリックします。



上記のすべてが終了した後で、“Port” をクリックし、RS232 接続と同様に PT630/HT630 とクレードルをリンクするために “Connect/Dial” を選択します。